

## 《国語科『話すこと・聞くこと領域』における発達段階を踏まえた育成すべき資質・能力》

(○主として話すこと ◇主として聞くこと ◎どちらでもはぐまれるもの)

	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性など (どのように社会・世界とかかわりよりよい人生を送るか)
第一・二学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎言葉には、事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気付いて話したり聞いたりすることができる。</li> <li>◎言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付いている。</li> <li>◎昔話や神話・伝承などの本や文章の読み聞かせを聞いたり、知っていることを発表し合ったりしている。</li> <li>○姿勢や口形、こえの大きさや速さなどに注意して、はっきりした発音で話することができる。</li> <li>○相手に応じて丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話することができる。</li> <li>◇アクセントによる語の意味の違いなどに気が付くことができる。</li> <li>◇大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近なことや経験したことなどから話題を決め、必要な事柄を思い出すことができる。</li> <li>○話す事柄を順序立てて話すことができる。</li> <li>◎互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎事物の説明や経験の報告をしたり、それらを聞いて感想を述べたりしている。</li> <li>◎尋ねたり応答したり、グループで話し合っって考えを一つにまとめたりしている。</li> <li>◎場面に合わせてあいさつをしたり、ひつようなことについて身近な人と連絡をしあったりしている。</li> <li>◎知らせたいことなどについて身近な人に紹介したりそれを聞いたりしている。</li> </ul>
第三・四学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いて話したり聞いたりすることができる。</li> <li>◎語句には、性質や役割の上で類別があることを理解している。</li> <li>◎辞書を利用して調べる方法を知り、習慣としている。</li> <li>◎修飾と被修飾との関係など、文の構成について初歩的に理解している。</li> <li>◎指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うことができる。</li> <li>○相手や目的に応じて丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話することができる。</li> <li>○相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関心のあることなどから話題を決め、必要な事柄について調べ、要点をメモすることができる。</li> <li>○相手や目的に応じて理由や事例などを挙げながら筋道を立てて話することができる。</li> <li>◎話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりすることができる。</li> <li>◎互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎出来事の説明や調査の報告をしたり、それらを聞いて意見を述べたりしている。</li> <li>◎学級全体で話し合っって考えをまとめたり、意見を述べ合ったりしている。</li> <li>◎図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話したり、聞いたりしている。</li> </ul>
第五・六学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付いて話したり聞いたりすることができる。</li> <li>◎話し言葉と書き言葉との違いに気が付くことができる。</li> <li>◎語句の構成、変化などについて理解している。</li> <li>◎話したり聞いたりする中での語句と語句との関係を理解している。</li> <li>◎語感、言葉の使い方に対する感覚をもっている。</li> <li>◎文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。</li> <li>◎比喩や反復などの表現の工夫に気付いて話したり聞いたりしている。</li> <li>○目的や意図に応じて場に応じた適切な言葉遣いではなすことができる。</li> <li>○共通語と方言との違いを理解し、また、必要に応じて共通語ではなすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関連付けることができる。</li> <li>○目的や意図に応じて事柄が明確に伝わるように語の構成を工夫しながら話することができる。</li> <li>◇話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることができる。</li> <li>◎互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりしている。</li> <li>◎調べたことやまとめたことについて、討論などを行っている。</li> <li>◎事物や人物を推薦したり、それを聞いたりしている。</li> </ul>

《国語科『書くこと領域』における発達段階を踏まえた育成すべき資質・能力》

	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性など (どのように社会・世界とかわりよりよい人生を送るか)
第一・二学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○言葉には、事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気付いて書くことができる。</li> <li>○言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付いている。</li> <li>○語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くことができる。</li> <li>○文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いなどに気付き、正すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○経験したことや想像したことなどから書くことを決め書こうとする題材に必要な事柄を集めることができる。</li> <li>○自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。</li> <li>○書いた物を読み合い、良いところを見つけて感想を伝え合うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○想像したことなどを文章に書こうとしている。</li> <li>○経験したことを報告する文章や観察したことを記録する文章などを書こうとしている。</li> <li>○身近な事物を簡単に説明する文章などを書こうとしている。</li> <li>○紹介したいことをメモにまとめたり、文章に書いたりしようとする。</li> <li>○伝えたいことを簡単な手紙に書こうとする。</li> </ul>
第三・四学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いて書くことができる。</li> <li>○語句には、性質や役割の上で類別があることを理解している。</li> <li>○辞書を利用して調べる方法を知り、習慣としている。</li> <li>○修飾と被修飾との関係など、文の構成について初歩的に理解している。</li> <li>○指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うことができる。</li> <li>○文章の敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。</li> <li>○文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を、調べることができる。</li> <li>○文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成することができる。</li> <li>○書こうとするものの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くことができる。</li> <li>○書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近なこと、想像したことなどを基に、詩をつくったり、物語を書いたりしようとしている。</li> <li>○疑問に思ったことを調べて、報告する文章を書いたり、学級新聞などに表したりしようとしている。</li> <li>○収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書こうとしている。</li> <li>○目的に合わせて依頼状、案内状、礼状などの手紙を書こうとしている。</li> </ul>
第五・六学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付いて書くことができる。</li> <li>○話し言葉と書き言葉との違いに気が付くことができる。</li> <li>○語句の構成、変化などについて理解している。</li> <li>○文章を書く中での語句と語句との関係を理解している。</li> <li>○語感、言葉の使い方に対する感覚をもっている。</li> <li>○文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。</li> <li>○比喩や反復などの表現の工夫に気付いて書いている。</li> <li>○事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすることができる。</li> <li>○引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くことができる。</li> <li>○表現の効果などについて確かめたり工夫したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理することができる。</li> <li>○自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えることができる。</li> <li>○書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○経験したこと、想像したことなどを基に、詩や短歌、俳句をつくったり、物語や随筆などを書いたりしようとしている。</li> <li>○自分の課題について調べたり、意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりしようとしている。</li> <li>○事物のよさを多くの人に伝えるための文章を書こうとしている。</li> </ul>

## 《国語科『読むこと領域』における発達段階を踏まえた育成すべき資質・能力》

(○主として説明的文章 ◇主として文学的文章 ◎どちらの文章でもはぐくまれるもの)

	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性など (どのように社会・世界とかわりよりよい人生を送るか)
第一・二学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎言葉には、事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気付いて読むことができる。</li> <li>◎言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付いている。</li> <li>◎文の中における主語と述語の関係に注意して読むことができる。</li> <li>◎敬体で書かれた文章に慣れている。</li> <li>◎平仮名、片仮名、漢字を読むことができる。</li> <li>◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。</li> <li>◇昔話や神話・伝承などの本や文章の読み聞かせを聞いたり、知っていることを発表し合ったりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、情報の大体を理解することができる。</li> <li>◇場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、書かれていることを基に、想像しながら読むことができる。</li> <li>◎文章の中の大事な言葉や文を見付けることができる。</li> <li>◎文章の内容と自分の経験とを関係づけて、自分の思いや考えをまとめたり、友達と考えを発表し合ったり聴き合ったりすることができる。</li> <li>◎目的（楽しんだり知識を得たり）に応じて本や文章などの情報を選択して読むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎本や文章を楽しんだり、想像を広げながら読んでいる。</li> <li>◇楽しみながら物語の読み聞かせを聞いたり、物語を様々な方法で演じたりしている。</li> <li>○必要感と目的意識をもって、意欲的にものごとや生物について説明されている情報を読んでいる。</li> <li>◎物語や科学的なことについて書いた本や文章を読んで、感想をもったり、仲間と伝え合ったりしている。</li> <li>◎情報から得た知識、そこからもった考えや感想、気に入ったところを進んで伝え合ったり紹介し合ったりしている。</li> </ul>
第三・四学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いて読むことができる。</li> <li>◎語句には、性質や役割の上で類別があることを理解している。</li> <li>◎辞書を利用して調べる方法を知り、習慣としている。</li> <li>◎修飾と被修飾との関係など、文の構成について初歩的に理解している。</li> <li>◎指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うことができる。</li> <li>◎ローマ字で書いたものを読むことができる。</li> <li>◇内容の中心や場面の様子がよくわかるように音読することができる。</li> <li>◇優しい文語調の短歌や俳句について情景を思い浮かべたり、リズムを感じ取りながら音読や暗唱をしたりしている。慣用句、故事成語などの意味を知っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的に応じて、中心となる語や分を捉えて、段落相互の関係や事実と意見の関係性を考えながら情報を捉えることができる。</li> <li>◇場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて自分の考えをもったり、仲間と伝え合ったりしながら読むことができる。</li> <li>○目的や必要に応じて、文章の要点や細部に着目しながら読むとともに、必要な情報を引用したり、要約したりしながら読むことができる。</li> <li>◎読み取った情報から考えたことを表現したり聴き合ったりしながら、仲間の感じ方や考え方に違いがあることに気付いている。</li> <li>◎目的（楽しんだり知識を得たり）に応じて様々なジャンルの本や文章などの情報を選択して読むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎様々なジャンルの情報を活用しながら幅広く読書しようとしている。</li> <li>◇物語や詩を読んで感じたことや思ったことを仲間とともに進んで伝え合っている。</li> <li>○記録や報告文、図鑑や辞典などを幅広く活用しようとしている。また、活用してまとめた考えを伝え合おうとする。</li> <li>◎紹介したい本を選び、積極的にその良さを伝え合おうとしている。</li> <li>◎必要な情報を得るために、読んだ内容や書いた人に関連した本や文章などを幅広く読もうとしている。</li> </ul>
第五・六学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付いて読むことができる。</li> <li>◎語句の構成、変化などについて理解している。</li> <li>◎文章の中での語句と語句との関係を理解している。</li> <li>◎語感、言葉の使い方に対する感覚をもっている。</li> <li>◎文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。</li> <li>◎比喩や反復などの表現の工夫に気付いて読むことができる。</li> <li>◇自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすることができる。</li> <li>◇親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章について内容の大体を知り音読することができる。古典について解説した文章を読み、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的に応じて、情報を比較して読むなど、効果的な読み方を工夫することができる。</li> <li>○目的に応じて、情報の内容を的確におさえるとともに、要旨を捉えたり、事実と感想、意見などとの関係性をおさえ、自分の考えを明らかにすることができる。</li> <li>◇登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、優れた文章について自分の考えをまとめることができる。</li> <li>◎本や文章や取り出した情報について、考えたことを表現し合ったり聴き合ったりして、仲間の考えと比較しながら自分の考えをひろげたり深めたりすることができる。</li> <li>◎目的（楽しんだり知識を得たり）に応じて様々なジャンルの本や文章など、複数の情報を選択して比較しながら読むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎目的（楽しんだり知識を得たり）に応じて様々なジャンルの本や文章など、複数の情報を選択して比較しながら読み、読書を通して、考えをひろげたり深めたりしようとしている。</li> <li>◇伝記など特定の人物について書かれた文章を読み、自分の生き方について考えようとしている。</li> <li>○自分の課題解決のために、意見を述べた文章や解説が書かれた文章など、情報を効果的に活用しようとしている。</li> <li>○編集の仕方、記事の書き方、文章の書き方に着目して新聞記事や雑誌記事、論説文、説明文などを読もうとしている。</li> <li>◎本や文章を読み、積極的に他学年などの他者に紹介したり、読みたいと思ってもらえるような推薦文を書いたりしようとする。</li> </ul>

《社会科における発達段階を踏まえた育成すべき資質・能力》

	個別の知識や技能 (何を知っているか, 何ができるか)	思考力・判断力・表現力 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力, 人間性など (どのように社会・世界とかがわりよりよい人生を送るか)
第三・四学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の産業や消費生活の様子, 人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動についての理解。</li> <li>○地域の地理的環境, 人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについての理解。</li> <li>○社会的事象の観察, 調査や地図や各種の具体的資料の活用など, 必要な情報を集め, 読み取り, まとめる技能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会的事象から学習問題を見だし, 見通しをもって意欲的に追究する力。</li> <li>○社会的事象の特色や相互の関連などについて, 位置や時期に着目して, 思考・判断・考察する力</li> <li>○根拠や理由を明確にして, 自分の考えを説明したり, 他者と課題解決に向けて話し合ったりする力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題解決に向けて自分たちにできることを選択・判断し, よりよい社会を構想する力。</li> <li>○地域社会の一員としての自覚。</li> <li>○地域社会に対する誇りと愛情。</li> <li>○協同の価値や学んだことの成果等の自覚</li> </ul>
第五学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○我が国の国土や産業の様子, 国土の環境や産業と国民生活との関連についての理解。</li> <li>○社会的事象の的確な調査や地図, 地球儀, 統計などの各種の基礎的資料の活用など, 必要な情報を集め, 読み取り, まとめる技能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会的事象から学習問題を見だし, 見通しをもって意欲的に追究したり, 振り返ったりする力。</li> <li>○社会的事象の意味について位置や空間的広がり, 時期や時間的経過, 事象相互, 立場相互の関係に着目し, 多角的に思考・判断・考察する力。</li> <li>○国民の生活と関連付けて自分の考えを論理的に説明・主張したり, 他者と課題解決に向けて話し合ったりする力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題解決に向けて自分たちにできることを選択・判断し, よりよい社会を構想する力。</li> <li>○国土の環境の保全と自然災害の防止の重要性についての関心。</li> <li>○産業の発展や社会の情報化の進展についての関心。</li> <li>○国土に対する愛情。</li> <li>○協同の価値や学んだことの成果等の自覚</li> </ul>
第六学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産, 日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方, 我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割についての理解。</li> <li>○社会的事象の的確な調査や地図, 地球儀, 統計などの各種の基礎的資料の活用など, 必要な情報を集め, 読み取り, まとめる技能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会的事象から学習問題を見だし, 見通しをもって意欲的に追究したり, 振り返ったりする力。</li> <li>○社会的事象の意味について位置や空間的広がり, 時期や時間的経過, 事象相互, 立場相互の関係に着目し, より広い視野から多角的に思考・判断・考察する力。</li> <li>○国民の生活と関連付けて, 自分の考えを論理的に説明・主張したり, 他者と課題解決に向けて話し合ったりする力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題解決に向けて自分たちにできることを選択・判断し, よりよい社会を構想する力。</li> <li>○我が国の歴史や伝統を大切に, 国を愛する心情。</li> <li>○平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることへの自覚。</li> <li>○協同の価値や学んだことの成果等の自覚</li> </ul>

《算数科における発達段階を踏まえた育成すべき資質・能力》

	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性など (どのように社会・世界とかがわりよりよい人生を送るか)
第一・二学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、日常の事象を数理的に処理するための知識・技能の基礎となる経験を確認なものにしている。</li> <li>○問題解決に必要な数学的プロセスについて体験し、そのよさについて味わうことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常の事象を数理的に捉え、結果を想像しながら考察し、処理することができる。</li> <li>○数量や図形の性質や計算の仕方などを見いだしたり、既習の内容と結びつけ、統合的に考えたり、そのことを基に発展的に考えたりすることのよさに気づくことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○数学的な考え方や数理的な処理のよさを体験し、そのよさについて気付くことができる。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○協同的に問題解決することを体験し、そのよさについて味わうことができる。</li> </ul>	
第三・四学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、日常の事象を数理的に処理するための知識・技能についての豊かな感覚をもっている。</li> <li>○問題解決に必要な数学的プロセスについて、主体的に取り組み、問題を解決することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常の事象を数理的に捉え、結果を予想しながら考察し、処理することができる。</li> <li>○数量や図形の性質や計算の仕方などを見いだしたり、既習の内容と結びつけ、統合的に考えたり、そのことを基に発展的に考えたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○数学的な考え方や数理的な処理のよさに気付き、算数の学習を進んで生活や学習に活用しようとしている。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○数学的な表現を用いて協同的に問題解決することができる。</li> <li>○数学的に表現・処理したことについて、多様な考えを比較しながら話し合ったりすることができる。</li> </ul>	
第五・六学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、日常の事象を数理的に処理するための知識・技能を身に付けている。</li> <li>○問題解決に必要な数学的プロセスについて、主体的に取り組み、発展・統合などの数学的な処理を通して問題を解決することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察し、処理することができる。</li> <li>○基礎的・基本的な数量や図形の性質や計算の仕方などを見いだしたり、既習の内容と結びつけ、統合的に考えたり、そのことを基に発展的に考えたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○数学的な考え方や数理的な処理のよさに気付き、算数の学習を進んで生活や学習に活用しようとしている。</li> <li>○抽象的に表現されたことを具体的に表現しようとしたり、具体的に表現されたことをより一般的に表現しようとしたりするなど、多面的に考えようすることができる。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○数学的な表現を用いて協同的に学ぶことのよさを実感しながら、問題解決することができる。</li> <li>○数学的に表現・処理したことについて批判的に検討しようとしたりすることができる。</li> </ul>	

《理科における発達段階を踏まえた育成すべき資質・能力》

	個別の知識や技能 (何を知っているか, 何ができるか)	思考力・判断力・表現力 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力, 人間性など (どのように社会・世界とかかわりよりよい人生を送るか)
第三・四学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然事象の性質や規則性, 観察・実験器具の名称やその扱い方, 科学的用語などの理解。</li> <li>○簡単な器具や材料を見付けたり, 使ったり, 作ったりしての観察・実験やものづくり。</li> <li>○観察・実験やものづくりにおける過程や結果の記録。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然の事物・現象を比較し, 差異点や共通点に気付き, それを表現し, 問題解決する。(3年生)</li> <li>○自然の事物・現象の変化について, 問題を見だし, 既習事項や生活経験をもとに根拠のある予想や仮説を発想, 表現し, 問題解決する。(4年生)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然の事物・現象に興味・関心をもって追究し, 生物を愛護するとともに見いだした特性を生活に生かそうとする態度。</li> <li>○見通しをもって観察・実験などを行い, 問題解決するとともに, その妥当性に目を向けようとする態度。</li> </ul>
第五・六学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然事象の性質や規則性, 観察・実験器具の名称やその扱い方, 科学的用語などの理解。</li> <li>○問題解決に適した方法を工夫し, 装置を組み立てたり使ったりしての観察・実験やものづくり。</li> <li>○観察・実験やものづくりにおける過程や結果の的確な記録。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然の事物・現象の変化について, 予想や仮説などをもとに, 質的变化や量的変化, 時間的变化に着目して考察, 表現し, 問題解決する。(5年生)</li> <li>○自然の事物・現象の変化について, その要因や規則性, 関係を多面的に分析し考察して, より妥当な考えをつくりだして表現し, 問題解決する。(6年生)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然の事物・現象を意欲的に追究し, 生命を尊重するとともに, 見いだした決まりを生活に当てはめようとする態度。</li> <li>○見通しをもつて的確に観察・実験などを行い, 問題解決するとともに, その妥当性を検証しようとする態度。</li> </ul>

《生活科における発達段階を踏まえた育成すべき資質・能力》

	個別の知識や技能の基礎 (生活の中で, 豊かな体験を通じて, 何を感じたり, 何に気付いたり, 何がわかったり, 何ができるようになるのか)	思考力・判断力・表現力等の基礎 (生活の中で, 気付いたこと, できるようになったことなどを使って, どう考えたり, 試したり, 工夫したり, 表現したりするか)	学びに向かう力, 人間性など (どのような心情, 意欲, 態度などを育み, よりよい生活を営むか)
第一・二学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○具体的な活動や体験を通して獲得する, 自分自身, 社会事象, 自然事象に関する個別的な気付き。</li> <li>○具体的な活動や体験を通して形成する, 自分自身, 社会事象, 自然事象に関する他者や社会との関係性に基づく気付き。</li> <li>○具体的な活動や体験を通して身に付ける習慣や技能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達の意見と自分の意見を比較したり, 分類したり, 関連づけたり, 視点を変えたりして対象を捉える力。</li> <li>○試したり, 工夫したり, 予測したり, 見通しをもったりして創り出す力。</li> <li>○自分の思いや考えを伝えたり, 友達と交流したり, 活動を振り返ったりして表現する力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な人々や地域に関わり, 集団や社会の一員として適切に行動しようとする態度。</li> <li>○身近な自然と関わり, 自然を大切にしたり, 遊びや生活を豊かにしたりしようとする態度。</li> <li>○自分のよさや可能性を生かして, 意欲と自信をもって生活しようとする態度。</li> </ul>

《家庭科における発達段階を踏まえた育成すべき資質・能力》

	個別の知識や技能 (何を知っているか, 何ができるか)	思考力・判断力・表現力 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力, 人間性など (どのように社会・世界とかがわりよりよい人生を送るか)
第五・六学年	<p><u>家族の一員として日常生活に必要な基礎的・基本的な知識・技能</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○家族・家庭生活に関する知識・理解</li> <li>○生活の自立の基礎として必要な衣食住に関する知識・理解, 技能</li> <li>○消費生活や環境に配慮した生活の仕方に関する知識・理解, 技能</li> </ul>	<p><u>家庭科における見方や考え方を踏まえて, よりよい生活を目指して課題を解決し, 生活の中で活用する能力</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な生活事象について他の生活事象と関連付け, 批判的に検討し, 考察する力</li> <li>○日常生活における問題を課題として把握し, 解決策を構想し, 計画・評価する力</li> <li>○実習や観察・実験, 調査, 交流活動等の結果について, 根拠や理由を明確にして分かりやすく説明したり発表したりする力</li> <li>○他者の思いや考えを聞いたり, 自分の考えをわかりやすく伝えたりして意見交流する力</li> </ul>	<p><u>家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭生活を大切にしている心情・家族や地域の人々と関わり, 協力しようとする態度</li> <li>○生活を楽しまうとする態度</li> <li>○日本の生活文化を大切にしようとする態度</li> </ul>

《体育科運動領域における発達段階を踏まえた育成すべき資質・能力》

	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性など (どのように社会・世界とかがわりよりよい人生を送るか)
第一・二学年	○運動を楽しく行うための、体の基本的な動きや各種の運動の基礎となる動き。	○各種の運動を楽しむための活動の仕方や競争のルールなどを工夫する力。 ○運動する中で生じた思いや願い、気付きなどを言葉や動作等で表現する力。	○順番やきまりを守って仲よく運動したり、協力して仲よく勝敗を競ったり、安全に気を付ける態度。 ○各種の運動に進んで取り組む態度。
第三・四学年	○各種の運動を楽しく行うための、基本的な動きや技能。 ○各種の運動を安全に行う基本的な知識。	○運動の楽しさに触れたり、動きや技能を身に付けたり体力を養ったりすることに向けて、動き方・運動する場・練習の仕方などを工夫する力。 ○運動する中で生じた課題や、仲間の学びのよさを言葉や動作等で表現する力。	○きまりを守り、勝敗を受け入れるとともに、安全を確かめ、仲間と学びのよさを認め合いながら運動する態度。 ○学習課題の達成に向かって最後までやり遂げる態度。
第五・六学年	○運動の楽しさや喜びを味わうための、各運動領域の特性に応じた基本的な動きや技能。 ○各種の運動の行い方についての基本的な知識。	○運動の楽しさに触れたり、技能を身に付けたり体力を高めたりすることに向けて、動き方・運動する場・練習の仕方などを工夫する力。 ○運動する中で生じた課題や、その解決方法を仲間と共有したり、合意形成したりしながら、課題解決を図る力。	○協力、公正な態度で、安全を確かめ、相手を尊重しながら運動する態度。 ○学習課題の達成へ向けて全力を出して運動に取り組む態度。



《体育科保健領域における発達段階を踏まえた育成すべき資質・能力》

	個別の知識や技能 (何を知っているか, 何ができるか)	思考力・判断力・表現力 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力, 人間性など (どのように社会・世界とかがわりよりよい人生を送るか)
第三・四学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康な生活, 発育・発達について, 課題の解決に役立つ基礎的な事項の理解。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康な生活, 発育・発達について, 身近な健康課題を知り, 健康を保持増進するために, 情報を整理し, 解決する力。</li> <li>○健康な生活, 発育・発達について, 学んだことや健康に関する自分の考えを伝えたり, 他者の考えを理解したりしながら, 課題を解決する力。</li> <li>○健康な生活, 発育・発達について, 学んだことを自己の生活と関連付けて考える力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康な生活, 発育・発達について, 関心をもち, 自己の健康の保持増進のために協力して学習活動に意欲的に取り組む態度。</li> </ul>
第五・六学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○心の健康, けがの防止, 病気の予防について, 課題の解決に役立つ基礎的な事項の理解。</li> <li>○不安や悩みの対処やけがの手当について, 基礎的な技能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○心の健康, けがの防止, 病気の予防について, 身近な健康課題に気付き, 健康を保持増進するために, 情報を活用し, 解決する力。</li> <li>○心の健康, けがの防止, 病気の予防について, 学んだことや健康に関する自分の考えを伝えたり, 他者の考えを生かしたりしながら, 課題を解決する力。</li> <li>○心の健康, けがの防止, 病気の予防について, 学んだことを自己の生活と関連付けて考え, 自己の生活に生かす力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○心の健康, けがの防止, 病気の予防について, 関心をもち, 自己の健康の保持増進のために協力して学習活動に意欲的に取り組む態度。</li> <li>○自他の心身の発育・発達などを肯定的に捉える態度。</li> </ul>

《道徳の時間における発達段階を踏まえた育成すべき資質・能力【主として自分に関すること】》

	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性など (どのように社会・世界とかがわりよりよい人生を送るか)
第一・二学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康や安全に気を付けて生活し、基本的な生活習慣が身につけている。</li> <li>○自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行うことができる。</li> <li>○よいことと悪いことの区別ができ、よいと思うことを進んで行うことができる。</li> <li>○うそをついたりごまかしたりせず素直に伸び伸びと生活できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○具体的な場面を想定して、善悪の判断をすることができる。</li> <li>○よりよい生活や自分に近づけるために、自分の思いや願いを表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の生活を見直し、健康や安全に気をつけ、規則正しい生活をしようとしている。</li> <li>○自分がやらなければいけないことを粘り強く取り組もうとしている。</li> <li>○善悪の区別をし、よいと思うことを進んで行おうとしている。</li> <li>○うそをついたりせず、素直に伸び伸びと生活したりしようとしている。</li> <li>○よりよい自分を実現するために、仲間の考えを聞きながら、課題に向かって見通しをもって学習に取り組んでいる。</li> </ul>
第三・四学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康や安全に気を付けて生活し、主体的に考えて、節度ある生活を送ることができる。</li> <li>○自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げることができる。</li> <li>○正しいと思ったことは勇気をもって行動に移すことができる。</li> <li>○過ちを素直に認め、正直に伝えることができる。</li> <li>○自分の特徴に気付き、よい所を伸ばすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分たちの生活を振り返り、客観的な見方で善悪の判断をすることができる。</li> <li>○よりよい生活や自分に近づけるために、自分たちの生活を振り返りながら、多面的・多角的な見方で自分の思いや願いを表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分たちの生活を見直し、自ら考えて度を過ぎない節度のある生活をしようとしている。</li> <li>○自ら課題を見つけ、自分がやらなければいけないことを粘り強く取り組もうとしている。</li> <li>○正しいと思ったことは、勇気をもって行動に移そうとしている。</li> <li>○過ちを素直に認め、正直に明るい心で元気よく生活しようとしている。</li> <li>○自分の特徴に気付き、よい所を伸ばそうとしている。</li> <li>○よりよい自分を実現するために、仲間と協力しながら、課題に向かって見通しをもって学習に取り組んでいる。</li> </ul>
第五・六学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康や安全に気を付けて生活し、主体的に考えて望ましい生活習慣を築くことができている。</li> <li>○より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力することができる。</li> <li>○自由を大切にし、自律的で責任のある行動をすることができる。</li> <li>○誠実に生活し、前向きに受け止めて楽しく生活を送ることができる。</li> <li>○真理を大切にし、進んで新しいものを求め、工夫して生活を送ることができる。</li> <li>○自分の特徴を知り、悪い所を改め、よい所を伸ばすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分たちの生活を振り返り、多面的・多角的な見方で思考・判断できる。</li> <li>○よりよい生活や自分に近づけるために、仲間の考えを受け入れながら、多面的・多角的な見方で自分の思いや願いを表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分たちの生活を見直し、望ましい生活習慣を積極的に築くとともに、自ら節度のある生活をしようとしている。</li> <li>○より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力しようとしている。</li> <li>○自由を大切にし、自律的で責任のある行動をとろうとしている。</li> <li>○誠実に、明るい心で楽しく生活しようとしている。</li> <li>○真理を大切にし、進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくしようとしている。</li> <li>○自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばそうとしている。</li> <li>○よりよい自分を実現するために、身近な人々と支え合いながら、課題に向かって見通しをもって学習に取り組んでいる。</li> </ul>

《小学校各学年の外国語教育において育成すべき資質・能力》 ※研究開発指定「英語活動（第1学年及び第2学年）」「小学校英語科（第3学年から第6学年）」の目標と内容を基に考える場合

	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性など (どのように社会・世界とかがわりよりよい人生を送るか)
第一・二学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○英語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること。</li> <li>○英語を繰り返し聞き、音声を真似しながら次第に話していくこと。</li> <li>○アルファベットの音声を聞いたり言ったりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近なもの・ことを表す語句や表現を使って、友達や先生とあいさつをしたり、自分のほしいもの等について聞いたり話したりするコミュニケーション能力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○英語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを味わい、積極的に友達や先生の話の聞いたり、自分のことを話したりしようとする態度。</li> <li>○日本と外国の言語や生活、習慣、行事等の文化について比較をしながら、類似点等に気付くこと。</li> </ul>
第三・四学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○聞くことに関する知識・技能。</li> <li>○話すことに関する知識・技能。</li> <li>○アルファベット大文字・小文字を識別し、単語等を声に出して読むこと。</li> <li>○アルファベットや単語等を正しく書き写すこと。</li> <li>○言葉の仕組み（音、単語の綴り等）への気付き。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近なもの・ことを表す語句や表現に加え、自分の好み、気持ち、身の回りのもの・こと等を表す簡単な語句や表現を使って、友達に質問したり、質問に答えたりするコミュニケーション能力。</li> <li>○聞いたり声に出して読んだりしたことを活用して、話したり書き写したりして伝えるコミュニケーション能力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○英語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさや言語を用いてコミュニケーションを図る大切さを知り、相手意識を持って英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度。</li> </ul>
第五・六学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○聞くことに関する知識・技能。</li> <li>○話すことに関する知識・技能。</li> <li>○単語や文を声に出して読むこと。</li> <li>○単語や文を正しく書き写すこと。</li> <li>○言葉の仕組み（音、単語の綴り、語順等）や働きへの気付き。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○馴染みのある定型表現を使って、一日の生活や日本や地域の日常的な文化をはじめとした事実、簡単な物語の内容、自分の将来像等について紹介したり、自分や相手の考え等について質問したり答えたりするコミュニケーション能力。</li> <li>○聞いたり声に出して読んだりしたことを活用して、話したり書き写したりして伝えるコミュニケーション能力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本と外国の言語や生活、習慣、行事等の文化について比較をしながら、共通点や相違点に気付き、多様なものの見方や考え方を認め合う態度。</li> </ul>

《総合的な学習の時間における発達段階を踏まえた育成すべき資質・能力》 ※キャリア教育の場合

	個別の知識や技能 (何を知っているか, 何ができるか)	思考力・判断力・表現力 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力, 人間性など (どのように社会・世界とかかわりよりよい人生を送るか)
第三・四学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題追究するために有効な方法を身に付ける</li> <li>○学習の目的を意識しながら学習計画を立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○設定した課題を追究するために, 先輩児童や周囲の大人から得た情報について, 効果的な整理・分析を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己の将来を見通し, 夢や希望をもつ</li> <li>○課題を追究することを通して, 互いのよさを認め合うとともに, 見方や考え方を高めながら自分のよさや可能性に気づき, 自己の生活につなげようとする。</li> </ul>
第五・六学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体験や探究活動によって得られた知識をもとに, さらに課題の追究に取り組む</li> <li>○自ら学習計画を立て, 協力して計画を進めていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○設定した課題を追究するために, 収集した情報を整理する手立てを選択し, 分析する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己の将来を見通し, 将来のことを考える大切さに気付く</li> <li>○課題を追究することを通して, 自分と異なる意見も理解しようとし, 見方や考え方を深めながら自分のよさや可能性を, 自己の生活に生かそうとする。</li> </ul>